



一般会計を
家計にたとえると...

平成28年度 東金市の家計簿



問い合わせ

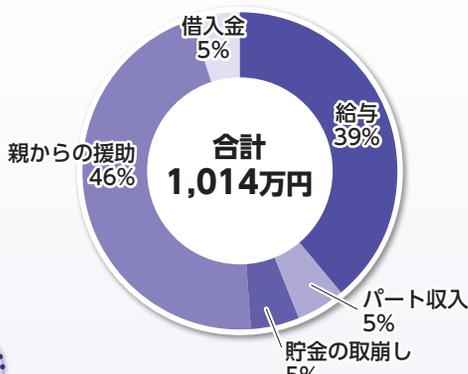
財政課 ☎(50) 1124

市では、広報やホームページを利用して財政状況を公表しています。平成29年11月1日号では平成28年度の決算状況および平成29年度予算の執行状況についてお知らせしました。

今回は、市の財政状況をより身近に感じていただけるよう、市の財政を家庭の家計に置き換えた「東金市の家計簿」を作成しました。

※平成28年度の一般会計の決算状況を、2,000分の1に置き換えて家計簿として表しました。

収入



給与 (市税)	390万円
パート収入 (使用料・手数料・繰越金など)	53万円
貯金の取り崩し (繰入金)	48万円
親からの援助 (地方交付税・国庫支出金など)	470万円
借入金 (市債)	53万円
合計	1,014万円

【市税】
家計簿の「給与」は自主的に収入しうる自主財源です。市税には個人市民税、法人市民税、固定資産税などがあり、自立した財政運営を進めるために重要な財源です。新築家屋および太陽光発電設備の増による固定資産税の増額などにより平成27年度に比べ増となりました。

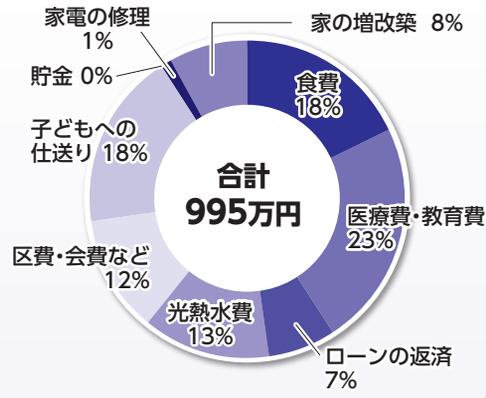
【地方交付税・国庫支出金など】
家計簿の「親からの援助」は国や県への依存財源です。この割合が大きいことはそれだけ国や県に依存する部分が多いということとなり、結果として市の自立性が損なわれます。

【市債】
市では、道路、学校などの公共施設を整備する際にお金を借りて分割で返済をしています。分割で返済することによりその年の支出を少なくでき、公共施設は長期にわたり使用するもののため、負担を世代間で公平にできることから借入れを行っています。

借入金残高 811万円
(市債残高【一般会計分】)

貯金残高 148万円
(基金残高【一般会計分】)

支出



食費 (人件費)	180万円
医療費・教育費 (扶助費)	224万円
ローンの返済 (公債費)	74万円
光熱水費 (物件費)	124万円
区費・会費など (補助費等)	122万円
子どもへの仕送り (繰出金)	179万円
貯金 (積立金)	0万円
家電の修理 (維持補修費)	11万円
家の増改築 (普通建設事業費)	81万円
合計	995万円
余剰金	19万円

【扶助費】
扶助費は義務的経費のひとつで、法律などで支出が義務付けられています。近年は生活保護費などの増加に伴い、年々増加しています。

【補助費等】
市では、各種の市民活動に補助金を支出し、また市が加入する団体に負担金を支払っています。特に行政サービスの一部を他の市町と共同で行うために設置した一部事務組合に対しては、多くの負担金を支払い、消防業務、水道業務、ごみ処理業務などを行っています。

【繰出金】
市には、一般会計のほかに9つの特別会計・企業会計があります。これらの会計は独立採算を原則としますが、財源不足が生じたときなどは一般会計から繰出金を支出します。なお、下水道事業特別会計については、公債費(借金の返済)が高い水準にあることから多くの繰出金を支出しています。また、平成26年4月に開院した東千葉メディカルセンターの運営費等に係る負担として、病院事業特別会計に対する繰出金を支出しています。

※余剰金は、翌年度の繰越金などになります。

10年前と比べると・・・

右の家計簿は、10年前の平成18年度の状況について、上記の平成28年度の家計簿と同じ手法により表したものです。

当時に比べて人口は若干減少していますが、収入・支出ともに大幅に増加しています。この主な要因としては、『医療費・教育費』にあたる扶助費や『子どもへの仕送り』にあたる繰出金の増加などと併せ、『親からの援助』にあたる地方交付税・国庫支出金なども増加したことがあげられます。

【参考】各年4月1日の人口(住民基本台帳)

平成28年4月1日=59,962人、平成18年4月1日=61,518人

※住民基本台帳法の改正により、平成24年8月以降は外国人住民も住民基本台帳人口に含まれることとなったため、平成18年4月1日の人口については「登録人口」(改正前住民基本台帳法に基づく住民基本台帳人口および旧外国人登録法に基づく外国人登録原票登録人口の合算)により記載しています。

将来に向けて・・・

近年、貯金にあたる財政調整基金を取り崩さざるを得ない、厳しい財政運営が続くなか、『医療費・教育費』にあたる扶助費については依然として増加しており、今後もこの傾向は続いていくことが予想されます。

また、東千葉メディカルセンターの運営支援や教育環境の整備などといった主要施策の着実な推進を図っていく必要があります。

このような状況から、この先も厳しい財政運営を強いられることが見込まれますが、道の駅みのりの郷東金の運営をはじめとする産業振興策や、移住者の受入環境整備の一環として行う住宅取得に対する助成といった移住・定住促進策など、まち・ひと・しごとの好循環の創出に向けた取り組みを進め、貯金の取り崩しに頼らない持続可能な財政構造の構築に努めていきます。

平成18年度の家計簿

収入	合計846万円	支出	合計824万円
給与 (市税)	366万円	食費 (人件費)	179万円
パート収入 (使用料・手数料・繰越金など)	72万円	医療費・教育費 (扶助費)	89万円
貯金の取り崩し (繰入金)	4万円	ローンの返済 (公債費)	109万円
親からの援助 (地方交付税・国庫支出金など)	353万円	光熱水費 (物件費)	89万円
借入金 (市債)	51万円	区費・会費など (補助費等)	173万円
		子どもへの仕送り (繰出金)	113万円
		貯金 (積立金)	0万円
		家電の修理 (維持補修費)	7万円
		家の増改築 (普通建設事業費)	65万円
		余剰金	22万円

借入金残高 876万円
(市債残高【一般会計分】)

貯金残高 187万円
(基金残高【一般会計分】)